



初秋の健康管理



スポーツ、行楽、食欲の秋！！とはいえ、楽しいことばかりでもありません。夏の疲れや食欲不振からくる健康上の問題が出てくるのもこのころです。特に今年の夏は天候が不順で、この時期結構「熱中症」のイヌが出ています。気温は下がり気味なのでつい気が緩みがちですが、湿度が高いことが原因です。今回はそんな秋の初めに注意したいことがらをお話したいと思います(健康で普通の成犬の場合)。

秋のはじめに注意したいこと

- 涼しくなるとヒトもイヌもついつい体を動かしたくなりますが、体調は大丈夫でしょうか？急に散歩の距離を伸ばしたり、アジリティーを開始したり……。体調管理をしながら徐々に始めていきましょう。
- この時期の散歩は、枯れ草や、草の実による眼球に関する疾患や、皮膚炎などにも気をつけましょう。
- ダブルコートの犬種は換毛期に入ります。そうでなくてもブラッシングは丁寧に、なるべく毎日実施し、抜けた毛を取り除き、空気の流通をよくすること。それとともに皮膚を刺激することで血行を良くし、新陳代謝を促してあげましょう。
- パルボやジステンパーは秋に流行りやすい病気です。ワクチンの内容を確認してみましょう。
- 冬に備え、犬舎、ベッド、サークル、ケージなどの日光消毒や掃除も、乾燥した好天日にでも実施してあげましょう。
- フィラリア予防は蚊を見なくなってから2か月は続けたいものです。忘れずに実行しましょう。蚊はあまり暑い時期よりこれからが活動時期といえるでしょう。水たまりを作らない、蚊を室内に侵入させないことが大事な条件のようです。



生きものにとって秋は最高のシーズンです。体調管理をして飼い主さんも、犬たちもステキな毎日を過ごしたいものです。

「愛犬家住宅」づくりのご相談先